

アラーム分析表 - 1

OXHW : O X H W

本決算
連結決算
分析日 2010/09/28

取引先情報

会社名	504015	(株)武富士			
設立	1974年11月	決算月	3月	上場	上場
業種	主業種	(S)貸金業			
	従業種	(S)貸金業			
住所	〒163-8654	新宿区西新宿 8 - 1 5 - 1			
所属/担当者	/				
T E L	03-3365-8000				
属性項目	【証券コード】	8 5 6 4			
	【大株主】	株式会社大丸、丸武産業株式会社、武井健児、武井博子、武井俊樹、有限会社ブルジャンプ			
	【役員】	清川昭、武井健児、相田勝則、佐藤健吾、進藤恒文、穴戸智、山本幹郎、吉田純一、佐藤重朗			
	【格付】	C C			
	【信用調査会社A】	?点			
	【信用調査会社B】	?点			
	【取引銀行】				
	【主要取引先】				
	【備考】	2010年9月28日 会社更生法申請			
	【備考】	負債総額 約4336億800万円			
<その他>	過払金返済の負担により破綻。ただし、倒産3ヶ月前の株主総会において約20億円の配当金支払いの決議。				

総合コメント 厳重注意 コメントは、類似の会社の傾向にすぎず、対象会社とは異なる場合があります

当期	自己資本比率高く、事業収益性は標準型で、当面安全性に不安はない。
前期	自己資本比率は標準型だが、事業収益性抜群で、当面安全性に不安はない。
前々期	自己資本比率高く、事業収益性も抜群で、当面安全性に不安はない。

特別コメント

特別	資金収支が悪く1年以内の破綻の恐れあり。
----	----------------------

個別コメント

営業体質	
運転資金	借入金規模は比較的小さい方である。
粉飾性	
収支バランス	
特記事項	
その他	

総合得点表

備考欄()内の数字は、アラーム分析表 - 2「評価指標」の指標番号参照

評価項目	2010年03月	2009年03月	2008年03月	備考	
1 借入金対月商比 (10)	5	5	5	(借入金合計・現預金)÷基準月商=(12)	
2 借入金変化不健全度 (10)	10	7	5	(21)-(22)-(23)-(24) (24)=月商増減×(12)前々期	
3 期間経常収支比率 (10)	6	4	6	(経常収入÷経常支出)×100 3期分を平均して評価	
4 不一致係数 (10)	10	10	10	販売債権・仕入債務の増減と基準月商営業用資産の推移から見た乖離度	
5 支払余力度 (20)	15	10	20	総資産-支払債務-焦げつき予想額+現預金の一定比率)÷基準年商	
総合評価 (60)	46	36	46	25点以下は資金繰り面からみて要注意 (本業・副業総合の資金繰りで評価)	
6 專業度バランス評価 (40)	37	31	35	投下資本の収益度Iと專業度Pで評価15点以下は要注意	
減点処理 ()	-43	-27	-41	各指標における減点処理の合計 減点記号の詳細は分析表7右下に表示	
資金繰り評価 (100)	40	*!!	40	*!!	40点以上でも上記総合評価が25点以下の場合、副業面での失敗等要注意

格付情報

安全性 (70)	20	20	20	上記資金繰り評価×0.7(但し資金繰り評価が40点以下の場合、調整評価併用)
コスト体質 (15)	0	0	0	コスト競争力の有無、ダンピング販売の有無等による短期的収益力評価
資産係数 (15)	0	0	0	総資産規模と売上規模との財務バランスから長期的収益力評価
格付評点 (100)	20	20	20	3指標の評点合計が、例外処理のため格付評点と合わない場合、*表示
格付区分	B	B	B	

アラーム分析表 - 7 (推移表)

OXHW : O X H W
 504015 : (株)武富士
 貸金業

本決算
 連結決算
 分析日 2010/09/28

総合得点表

評価項目			2010年03月	2009年03月	2008年03月	2007年03月	2006年03月	2005年03月	2004年03月	2003年03月	2002年03月		
1	借入金対月商比 (10)		5	5	5	5	10	10	8	8	8		
2	借入金変化不健全度 (10)		10	7	5	7	5	10	7	5	7		
3	期間経常収支比率 (10)		6	4	6	6	10	10	10	10	10		
4	不一致係数 (10)		10	10	10	7	10	10	10	10	7		
5	支払余力度 (20)		15	10	20	15	20	20	20	20	20		
総合評価 (60)			46	36	46	40	55	60	55	53	52		
6	專業度バランス評価 (40)		37	31	35	31	37	38	39	40	39		
減点処理 ()			-43	-27	-41	-31	0	0	0	0	0		
資金繰り評価 (100)			40	*!!	40	*!!	40	*!!	92	98	94	93	91

参考評価

格付情報

安 全 性 (70)	20	20	20	20	65	69	66	66	51
コ ス ト 体 質 (15)	0	0	0	0	15	15	15	15	15
資 産 係 数 (15)	0	0	0	0	15	15	15	15	15
格 付 評 点 (100)	20	20	20	20	95	99	96	96	81
格 付 区 分	B	B	B	B	AAA	AAA	AAA	AAA	AAA

- 資金繰り評価40点以下は
 資金繰りが破綻している状態
 近い将来資金繰りを破綻させるような体力以上のリスクを内在させている状態を言い、状況次第ではいつ倒産してもおかしくない状況下にあることを示します。
- 倒産企業全体の9.2%のものについては資金繰り評価が40点以下になったあと、翌年、翌々年等で41点以上を示しながら倒産するケースがあります。
- 非上場企業の場合、40点以下になった企業について、その後の5年間を觀察すると次のような推移がみられます。
 5年間に約12%前後のものが倒産に至る。
 5年間に約32%のものが廃業・解散に至る。
 5年間に約25%に大手との系列化がみられる。
 残りの30%のうち、約半分は赤字経営化となる。

【減点処理について】

評価指標の異常値 (*印) 1個につき2点減点
 融手操作の疑い (PEP) P又はPPの2種類、1個につき5点減点
 特別コメントのリスクペナルティ (!印)
 特別コメントの指摘あり。
 コメントにより、10点、20点及び30点減点があります。
 強制40点による減点 (!!印)
 資金繰り評価の警告 (*印) 減点でなく、警告を示す
 その他特殊なケースとして販売債権立替について、10、15及び20点減点があります。